

# おおむた新聞

第3号

企画・発行  
大牟田市中心市街地活性化協議会

まるごとまちなか  
@おおむた



築町商店街で16年

多くの人に愛される

大牟田でいちばん小さな

まちのケーキ屋さん「tambour」

心がホッとしたり、家族みんなが笑顔になつたり

「tambour」のケーキが

そんなきっかけになつたらとても嬉しいです。



口どけがとてもクリーミー!  
定番のクリームチーズケーキ



ほろほろサクサク♪  
小袋入りのお菓子も並びます

油断するとうつかり通り過ぎてしまいそうな、大牟田でいちばん小さなケーキ屋さん「tambour」。築町商店街の一角にオープンして17年目、はるばる遠方からも買いに来るファンを持つ人気店です。

店内のショースケースには、甘さと酸味のバランスが絶妙な「ドーナツ」や「タルト」など、店主の野田泰子さんの遊び心が入った「季節限定のチーズケーキ」、その他、ほろほろサクサクの焼菓子

や、日によってシフォンケーキや季節のフルーツマフィンが並びます。

「小さな頃からお菓子作りは好きでした。たまに作るケーキを家族が褒めてくれる。特に父が『とっても美味しい! おかわりしてもいい?』と喜んでくれる姿を見て、私も人を笑顔にすることができるのだと思いまし

た。それがケーキを作る原点かな。お菓子作りは楽しいし、それが縁でいろんな方と出会えることも嬉しいです。」と話してくれた野田さんのほんわり優しい人柄も、お店の人気のひとつなのでしょう。

**DATA**  
まちなか店主 vol.3  
野田 泰子さん  
(のだ たいこ)  
○得意技  
超マイペース!  
○最近のマイブーム  
美味しいコーヒーをいれること  
○大牟田の好きなお店  
築町商店街の中のお店  
『芽が出た根』  
お弁当が本当に美味しいのです♪

夏は手作りシロップのかき氷、たまに『tambour喫茶』をオープンし、フルーツサンドやパフェを販売されることも。これはスイーツ好きでなくとも見逃せませんね♪



街でいちばん小さなケーキ屋  
tambour  
福岡県大牟田市築町3-6  
☎0944-56-5506

# いつかはオーダーメイドの菓子店に

## 菊水堂

大牟田が発祥のお菓子「かすてら饅頭」。市内には食べ比べができるほど、たくさんの菓子店で店独自の饅頭が売られています。明治18年に創業、かすてら饅頭発祥の店「菊水堂」5代目の森史朗さんに話を伺いました。



創業 130 年を超えた老舗で、ひとつひとつ手作りで、伝統の味を守り続けています。



創業から 130 年以上が経ち、親子 3 世代で利用いただいていたり、「大牟田で生まれ育った母親が、菊水堂のかすてら饅頭を食べたいと言つていい」と東京から注文が入つたりすることもあります。このように多くの方の記憶に残っている菓子店であることは本当に嬉しいことですし、これは私の力だけでなく、先代たちが守り続けてきた歴史ある店だからこそそのことと思っています。

4 年前から他の和菓子屋さんと協働して、地元の中友小学校の 4 年生児童と一緒にかすてら饅頭作りを行っています。また 6 年生は、卒業前に

長崎でカステラに出会い、そのおいしさに魅了された初代菊太郎が、大牟田で揃う道具を使いカステラと同じ材料で作ったのが「かすてら饅頭」です。年間を通して、常に同じ品質の商品をお客様に提供できるよう、その日の湿度によって生地の粉の分量やこね方を変えていきます。また一方で、お客様のニーズによつて時代に合わせた商品改良も行っています。私がこの店を継ぎ 30 年ほど経ちますが、その間にも 10 回ほど改良を行いました。最近は甘さを控えたものが好まれるので、あんこに使用する砂糖の種類や分量を調整し、現代のお客様の舌に合う味にしていきます。

かすてら饅頭を作つて、お世話になつた人にプレゼントする取り組みも行つています。その取り組みのおかげか、饅頭作りを行つた子どもが 100 円玉をもつて饅頭を買いに来てくれたりすることもあり、嬉しく思つています。昨年は、映画「いのちスケッチ」の上映を記念して、期間限定で「カピバラ饅頭」を販売し、みなさんからかわいいと好評でした。和菓子もケーキと同じように、サイズや甘さをお客様の要望にあつたものを提供できるようにしていきたいですね。オーダーメイドの菓子店になることが夢です。

### 店主よりひとこと!

五代目店主  
森 史朗さん



大牟田に菓子店が多いのは、炭鉱が栄えていた頃に、仕事に疲れた炭鉱マンが甘いものを好んで食べていたからなどと言われています。歴史の古い店も多いです。菊水堂はもちろんですが、いろいろな店で多くの方に地元のお菓子をたくさん食べてもらいたいですね。